

WWF ジャパン度林産物調達報告 2008 年度版

WWF ジャパン（以下、当法人）は、林産物の使用量の節減に努め、林産物の由来を確かめることが重要と考え、調達にあたっては以下の方針にもとづき、アクションプランを策定しています。

当法人の林産物の調達状況について、2008 年度のアクションプランを振り返り、その結果について公開いたします。

方針 1：以下の林産物を積極的に調達する

- ・ 信頼できる森林認証制度*により認証された林産物
- ・ 信頼できる森林認証の取得に向かって、第三者により、継続的に改善をしていることが証明されている森林から生産された林産物

方針 2：方針 1 を満たす林産物の調達が困難な場合には、林産物の供給源について情報開示の要請をした上で調達する。

方針 3：当法人と関わりのある組織・事業において調達する林産物についても、方針 1 を満たすよう積極的に求める。

アクションプランの目標と結果

当法人が調達時に確認した紙製品由来による実績と、2008 年度目標は以下のとおりです。

1. 2008 年度 WWF ジャパン調達の紙製品の目標達成状況

表 1 2008 年度 WWF ジャパン調達の紙製品の目標達成状況

	実績				2008 年度 目標(%)
	文具類 (kg)	印刷発注 (kg)	計 (kg)	総重量に占 める割合 (%)	
①信頼できる森林認証 制度により認証された 紙製品	1,290.2	24,458.1	25,748.3	99.2	90.0以上
②古紙利用率 100%の再 生紙を使用した紙製品	21.2	59.3	80.5	0.3	①、③以外
③出所の不明な紙製品	39.1	77.5	116.4	0.5	2.0未満
総調達量	1,350.5	24,611.3	25,961.8	100.0	

注) 古紙利用率 100%は、購入時の業者申告に基づく。

2008 年度的林産物調達量は 25,961.8kg でした。このうち FSC 認証製品の比率は、99.2% でした。文具や印刷物には入手できない FSC 製品がありますので、可能な限りほぼ全量を FSC 製品でまかなったと言えます。

* 現在のところ FSC の森林認証制度のみが合致する。

2. 2007 年度実績との比較

2007 年度までは、上記方針に加え、古紙パルプ 100%の再生紙を使用した紙製品も積極的に調達することにしていました。しかし、2007 年度には古紙偽装が発覚、再調査の結果、古紙 100%として購入した紙製品の 98.4%に偽装があることが判明しています。古紙 100%の調達を FSC 認証製品に切り替えることにしたのはこのためです。これにより FSC 認証紙の比率も 13.5%から 99.2%と大幅に増加しています。出所の不明な紙製品の比率も 13.5%から 0.5%に下げ、目標の 2.0 未満を達成しています。

以上

<参考>表 2 2007 年度 WWF ジャパン調達の紙製品の目標達成状況

注) 古紙配合率は、購入時の業者申告に基づく。訂正された配合率に従って、実績値を訂正している。

2007 年度と 2008 年度の実績を比較すると、文具類は 1,457.4kg から 1,350.4kg に減少(-7.3%)

	実績				2007 年度 目標 (%)
	文具類 (kg)	印刷発注 (kg)	計 (kg)	総重量に占 める割合 (%)	
①信頼できる森林認証制度 により認証された紙製品	413.3	9,431.5	9,844.8	39.6	25.0以上
②古紙利用率(古紙 100%の 再生紙の使用量)	515.3	11,167.0	11,682.3	46.9	①、③以外
③出所の不明な紙製品	528.7	2,830.3	3,359.0	13.5	2.0未満
総調達量	1,457.4	23,428.8	24,886.2	100	

しています。しかし、印刷物が 23,428.8kg から 24,611.3kg に増加(+5%)し、全体として 4.3%増加しています。これはイベントに伴う印刷物が増えたことに起因しています。